

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸476-5		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室(4室), 小展示室(2室), 研修室(1室), 会議室等(6室), 駐車場(876台)等		
指定管理者	4期目	H28.4.1~R3.3.31	株式会社オオケン
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	株式会社オオケン
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	福山商工会議所
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	福山商工会議所

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
利用状況	4期	R2	30.5%	—	—
		R1	27.5%	23.3%	△3.0ポイント (84.7%)
		H30	29.5%	26.3%	△1.2ポイント (89.2%)
		H29	28.5%	27.5%	△2.1ポイント (96.5%)
		H28	30.5%	29.6%	+1.3ポイント (97.0%)
	3期平均 H23~H27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント (80.9%)	
	2期平均 H20~H22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント (75.4%)	
	1期平均 H17~H19	—	36.7%	△3.8ポイント —	
	H16(導入前)	—	40.5%	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、多数のイベントが延期又は中止となったため。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	各種アンケートの実施	催事者 57 件, 来館者 51 件, 自主催事 481 件
	ふくやま産業交流館 外部評価委員会	施設設置者, 利用者, 有識者で構成。(年 2 回)
	【主な意見】	【その対応状況】
	館東側の外灯設置が十分でない。 ホール内ネット環境が未整備である。	外灯ポールを 1 箇所, 県により増設した。 大展示場東西 2 箇所にネット環境を設置した。

4 県の業務点検等の状況

	項目	実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	利用状況報告書
	日報(必要随時)	○	必要時に, 随時電話(及びメール)で報告
連絡会議 月 1 回, 計 1 2 回	【指定管理者の意見】 「県民利用が想定される箇所の安全点検チェックシート」に基づき点検結果を県に提出。年末年始の休館日も含めて職員が巡回点検を随時行う事で, 利用者が安全で安心して利用できる環境を整えている。		
現地調査(随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し, 安全安心して利用できる環境を整備する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	4期	R1			料金 収入 (決算額)	4期	R1	99,423	△10,075
		H30	—	—			H30	109,498	△6,577
		H29	—	—			H29	116,075	△14,791
		H28	—	—			H28	130,866	14,578
	3期平均 H23～H27		—	△5,416		3期平均 H23～H27		116,288	8,969
	2期平均 H20～H22		5,416	5,416		2期平均 H20～H22		107,319	△34,894
	1期平均 H17～H19		—	—		1期平均 H17～H19		142,213	1,478
	H16 (導入前)		—	—		H16 (導入前)		140,735	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	—	—	—	
		料金収入	99,423	109,498	△10,075	利用料金制(※1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベントの延期又は中止による大幅減。
		その他収入	773	846	△73	
		計(A)	100,196	110,344	△10,148	
	支出	人件費	21,899	22,358	△459	働き方改革の推進に向けた時間外や公出勤業務削減。
		光熱水費	19,482	21,376	△1,894	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う施設利用減による光熱水使用料の減。
		設備等保守点検費	17,956	17,074	882	
		清掃・警備費等	23,813	24,016	△203	
		施設維持修繕費	4,033	6,167	△2,134	
		事務局費	4,996	4,825	171	
		その他	8,229	8,232	△3	
	計(B)	100,408	104,048	△3,640		
	収支①(A-B)		△212	6,296	△6,508	
	自主事業 (※2)	収入(C)	1,377	800	577	年2回(8,1月),利用促進を目的とした『ビッグ・ローズフェスタ』開催。
支出(D)		5,067	4,730	337		
収支②(C-D)		△3,690	△3,930	240		
合計収支(①+②)		△3,902	2,366	△6,268	固定納付金 8,000千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上 ○業務の実施による, 施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>施設の利用促進を図るため, 自主催事「ビッグ・ローズフェスタ」を年2回実施し, 過去最高の約1万人の集客を達成した結果, 施設のPR並びに小展示室利用に繋がった。</p> <p>企業によるレクレーション催事等の利用調整等, 利用者ニーズの多様化に見合った対応や, ビジネス会員交流会等に参加し, 異業種間での情報交換及び館のPRを積極的に行うことにより, 利用促進を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて, 手指消毒液の設置等, 館内の衛生対策を行った。</p> <p>大規模修繕について, 県に対して, 利用者の安全確保を最優先とした提案を行った。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症等の影響により, 面積稼働率は前年度比減となったが, 自主催事等を通じて, 施設の知名度向上及び利用促進を図れた。</p> <p>施設の維持管理について, 利用者に配慮し安全を確保した管理運営に取り組んだ。</p>
<p>管理の人的物的基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正化 	<p>館の職員はすべて100%自社社員の配置を継続し, 一致団結。「チームワーク」という面でも以前にも増して成長を成し遂げた。</p> <p>本社との情報共有, 報連相を密に行い効率的な業務運営に努めた。</p> <p>電力需給先の見直しや省エネを徹底的に実施した。</p>	<p>管理運営の体制を整え, 効率的な業務運営及び経費縮減に取り組んでいる。</p>
<p>総括</p>	<p>積極的な営業活動と自主催事による館のPR等により利用促進を図ったが, 期末(3月)の新型コロナウイルス感染症の影響が大きく, 前年度に対しては売上, 稼働率ともに減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き残ると想定されるが, 現状では感染拡大防止に対する対応を最優先として県と連携を図りながら運営を進めていく。</p> <p>催事者アンケートでは概ね満足, やや満足というお声をいただいているが, 今後も更に維持向上を図っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により, 面積稼働率は目標を達成できなかったものの, 県との連携により, 利用者の安全安心を確保した適切な管理運営を行った。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和2年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県との調整を引き続き密に行い、顧客サービス向上を目的とした備品及び機器類の購入更新を図っていく。 ○ 年2回以上の自主催事「ビッグ・ローズフェスタ」を今後も継続することで、館のアピールを行うと共に、地元から更に愛される施設となるように努める。 ○ 利用料確保に向け、引き続き、訪問活動及び顧客への声掛け活動など、営業活動強化による利用促進、稼働率確保を図る。 ○ 利用者の安全確保と施設の長寿命化を図るため、施設・設備の日々の点検強化や修繕を適切に実施していく。 ○ 産業振興に資するという基本に加え、利用者のニーズに合わせ幅広い館の利用に対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、指定管理者と県とで連携し、拡大防止に向けた適切な運営を行っていく。 ○ 終息後は、県内産業の早期回復に向けて、産業会館の役割を果たすべく、県内製品の販路開拓・拡大の機会を積極的に提供していく。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の知名度が上がるように継続的にPR活動等に取り組んでいく。 ○ 建築後19年が経過し、施設・設備の経年劣化が進んでいる。安全性に係る箇所については、県と連携をとり修繕を進める。 ○ 新たな取組としてSDGsを会社として導入していることから、ビッグ・ローズでも「環境づくり」「人権」「品質管理」「まちづくり」について、考え取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定管理者との連携により、施設の利用促進に向けたPR活動の実施や計画的かつ効果的な修繕を実施していく。